

## 事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	台風19号により大きな被害を受けた当地域では、インフラ整備や住民の防災意識の向上などソフト・ハードが連携した防災対策が必要である。 →地域住民が主体となって安心・安全な地域づくりを進める必要があり、防災意識の向上や避難体制の強化など地域防災力向上のための取組みを継続的に実施する。
対象となる人・範囲	対象：常和地区の全住民（約470名）及び広報紙・SNS発信による地区外からの参加者
事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動 広報紙の発行やフェイスブックにより国内外に広く情報発信し、多くの人々の参加・協力につながる。 →復興まちづくりだよりの発行：6回（2ヵ月ごと）</li> <li>・地域防災力の強化 令和3年度までに進めてきた取組みを周知・発展させることにより地域の防災力の向上につながる。 →防災・減災勉強会の開催（4月）、新型コロナに配慮した避難所設営訓練（8月）の実施</li> <li>・復興拠点等の整備 区民協働で復興拠点（つづじ園など）の整備に取り組み、地域内外の多くの人々との交流を創出することができる。 →参加人数：約1,000人</li> <li>・環境活動への取組み 地域の自然環境に対する保全意識を向上できる。 →環境勉強会：3回</li> </ul>
詳細 (活動内容・方法・スケジュール等ができるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)	<p>【年間活動計画別紙参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「逃げ遅れゼロ」の視点から、各家庭ごとかつ災害時要援護者の避難行動に視点を置いた「マイタイムライン」「支えあいマップ」を作成する。</li> <li>・R2年度に近隣企業と協定締結した一時避難所について、新型コロナ対策に配慮した避難訓練の実施など、具体的な活用方法を検討する。</li> <li>・災害現場で能力を発揮できる防災リーダー（防災士10名（うち2名女性））を育成し、区内の防災力を向上させるとともに、R3年度に登録した「地域を支える防災士」制度（佐久市）と連携して、市全体の防災力向上に貢献する。</li> <li>・令和2～3年度に設置した簡易雨量計、河川監視カメラ、危機管理型水位計、ため池監視システムなどの各システムから得られる気象情報等を区民に確実に伝え、避難行動につなげるための仕組みを検討する。</li> <li>・実現可能性 令和2年度から常和区の事業として継続的に進めてきている事業であり、3月の区総会で活動計画・予算について承認を得て進める。</li> <li>・団体の自立促進に向けて 区の活動として計画的に活動を継続するとともに、地区内外の人々との交流につなげて発展させることも視野に入れて活動を展開する。</li> </ul>
重点テーマに該当する理由	「さくの辯作戦」を基礎として地域が防災力を高める取組みに該当 実効性のある自主防災組織として機能するために消防団との連携を図りながら、令和3年度まで防災マップ、防災マニュアルなどの作成を進めてきた。令和4年度においても支え合いマップの作成や避難所設営訓練など消防団と連携して取り組む。
翌年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・単発的な取り組みでなく、現在の活動を計画的・継続的に発展させ地域コミュニティの維持・再生・活性化につなげたい。</li> <li>・災害の伝承は非常に重要であり、災害発生時から復興までの記録を次世代に残すため「復興誌」の作成（令和5年度予定）に取り組む。</li> </ul>

## 「常和を元気にする復興まちづくり事業」概要図

佐久市 常和区



活動項目	主な内容
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興まちづくりだよりの発行</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>
地域防災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災勉強会の開催</li> <li>・防災訓練（避難所設営）の実施</li> <li>・防災リーダーの育成</li> </ul>
復興拠点等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つづじ園等の整備</li> <li>・イベント（大根収穫祭等）開催</li> </ul>
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境勉強会の開催</li> </ul>



# 令和4年度 ツツジ園整備 計画図

常和復興まちづくり協議会 公園環境チーム

既に実施

令和4年度実施

令和5年度以降



0 50.0 100.0 m

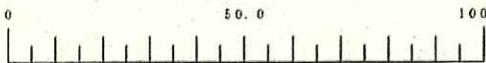
# 令和4年度 白山神社西整備 計画図

常和復興まちづくり協議会 公園環境チーム

### 既に実施

令和4年度実施

令和5年度以降



# 常和を元氣にする復興まちづくり事業 年次計画

本事業は、県・市の行なう災害復旧事業と並行しながら事業を展開・発展させていく計画であり、3年目となる令和4年度も地域発元気づくり支援金の活用を要望します。

活動内容	年 度	R1	R2	R3	R4	R5	備考	
災害復旧工事	田子川・さんがり川 災害復旧工事	★ 発	・測量設計 ・地元協議 ・用地交渉・家屋移転					
復興まちづくり活動	工 事							
	復興まちづくり協議会	★	設立	まちづくり活動の継続展開				
	広報活動		復興まちづくりだより発行(隔月)					
	災害伝承活動		災害復旧記録収集	復興誌編集作業		復興誌発行 (各戸配布)	災害伝承碑の建立検討	
	地域防災力の強化		防災リーダーの育成(防災士:10名) 手づくりハザードマップ作成 手づくりマイタイムライン作成 ⇄(連携) 支え合いマップ(要援護者の避難計画) 簡易雨量計の整備(10基)	4名(うち2名女) 見直し 見直し 支え合いマップ(要援護者の避難計画) 避難所用品整備				
	復興拠点の整備		つつじ公園・サクラソウ群生地・白山神社西整備 イベント開催(つつじ祭り、復興収穫祭、ヒマワリ祭り)					
	環境学習		地域の自然環境学習(動植物、景観) 2050ゼロカーボンへの取組(勉強会)					
事業費			1,100,886	622,503	1,300,000			
実績・効果			・まちづくりだより:6回発行 ・簡易雨量計:5基設置 ・つつじ公園等を拡張整備 (延べ参加数約100人) ・環境勉強会開催:1回	・まちづくりだより:6回発行 ・簡易雨量計:5基設置 ・つつじ公園等を拡張整備 (延べ参加数約300人) ・環境勉強会開催:1回				

## 令和4年度 常和復興まちづくり協議会活動計画

R 4 年 度  活 動 計 画	3月	復興拠点・白山神社西整備（耕起、施肥等）	
	4月	まちづくりだより（第14号）の発行 防災・減災勉強会（第1回） 復興拠点整備（サクラソウ群生地、つつじ園）、緑化木植樹 白山神社西整備（ヒマワリ畑、野菜広場） 環境勉強会（第1回）	
	5月	自主防災組織会議（役割別手順確認） 防災タイムライン検討会（豪雨・地震） イベント開催（つつじ祭り）	
	6月	まちづくりだより（第15号）の発行 防災訓練準備（6～7月） 支え合いマップ・我が家マイタイムラインの作成 復興拠点整備（つつじ園剪定、移植） 白山神社西整備（ヒマワリ種まき）	
	7月	防災マニュアル修正・確認、自主防災組織勉強会 防災マップ修正・配布 復興拠点整備（つつじ園草刈り） 白山神社西整備（ヒマワリ畑草刈り、定植、看板づくり） 環境勉強会（第2回）	
	8月	まちづくりだより（第16号）の発行 災害時世帯台帳更新 復興拠点整備（大根種まき） イベント開催（ヒマワリ祭り：絵、フォトコンテスト）	
	9月	防災訓練（避難所設営訓練） 復興拠点整備（園路等整備） 白山神社西整備	
	10月	まちづくりだより（第17号）の発行 復興拠点整備（つつじ移植等） 環境勉強会（第3回）	
	11月	イベント開催（復興大根収穫）	
	12月	避難所設営マニュアル作成・配布 防災活動マニュアル・防災マップ修正配布 まちづくりだより（第18号）の発行 復興拠点、白山神社西整備（畑耕起）	
	1月		
	2月	まちづくりだより（第19号）の発行予定	
	3月		

通年にわたって災害復旧工事にかかる関係機関との協議・調整